

日本の株式市場

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

市場の動向

日本株式市場の代表的な指数である東証株価指数(TOPIX)は、21日比で1.48%下落しました。前週末の世界株式市場全体が急落した流れを受けて、週初の日本株式市場は大きく下落して始まりました。また、週明けの中国・上海株式市場が大幅安となったことなどから、運用リスクを回避する動きが強まりました。その後は、自律反発狙いの買いや、好調な経済指標の発表を受けて米国株が急反発したことなどから、日本株式市場は上昇に転じましたが、週間では下落しました。

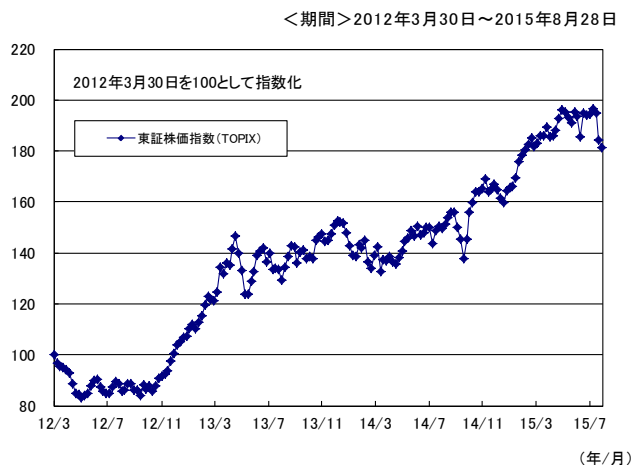
今後発表予定の主な経済指標など

- 31日 鉱工業生産指数(7月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊
騰落率がマイナスの場合: 😞
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
-1.48%	👉👈



＜出所＞ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

東証株価指数(TOPIX)の指数値及びTOPIXの商標は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます。)の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利及びTOPIXの商標に関するすべての権利は東証が有します。

世界の株式市場

市場の動向

海外株式市場全体の動きを表す代表的な指数であるMSCI-KOKUSAI指数は21日比円ベースで、0.62%下落しました。外国為替市場における円高進行が下落要因となりました。

米国株式市場(現地通貨ベース)は、中国株の下落を受けて、同国の景気や世界経済への影響が懸念されたことなどから、下落して始まりました。しかしその後は、中国株が上昇に転じたことに加え、7月の耐久財受注や4-6月期の実質GDP(国内総生産)成長率改定値が市場予想を上回ったことなどから上昇に転じ、週間では上昇しました。

欧州株式市場(現地通貨ベース)は、中国の景気減速懸念が重石となったものの、米国やスペインの4-6月期の実質GDP成長率が良好であったことなどから、上昇しました。

アジア(日本を除く)オセアニア株式市場(現地通貨ベース)は、週初は中国の株安を嫌気したもの、その後は中国株が上昇に転じたことや、商品市況の上昇などを受けて、週間では上昇しました。

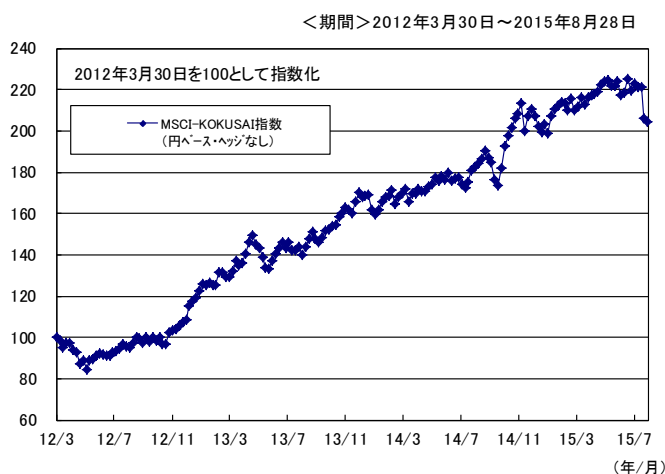
今後発表予定の主な経済指標など

- 9月1日 米ISM(サプライマネジメント協会)製造業景況感指数(8月)
- 3日 ユーロ圏小売売上高(7月)
- 3日 ECB(欧州中央銀行)金融政策
- 4日 米雇用統計(8月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊
騰落率がマイナスの場合: 😞
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
-0.62%	👉👈



＜指数出所＞FactSetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
＜為替出所＞当該日ロンドン時間16時発表のWMOロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

MSCI-KOKUSAI指数は、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的財産その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

日本の債券市場

市場の動向

日本の債券市場動向を表す代表的な指標であるNOMURA-BPI総合は、21日比で0.17%下落しました。日本債券市場は、中国の景気先行き懸念をきっかけに世界的にリスク回避の動きが強まったことなどから、上昇して始まりました。その後は、低水準の利回りに対して投資家の購入需要が減退する中、中国人民銀行(中央銀行)の利下げを受けて世界経済の先行きに対する悲観的な見方が後退したことなどから、日本債券市場は下落に転じ、週間でも下落しました。長期金利の指標となる10年国債利回りは、21日比で上昇(価格は下落)し、0.38%となりました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 31日 鉱工業生産指数(7月)
- 9月1日 法人企業統計(4-6月期) など

	2015/8/21	2015/8/28	変化幅
日本10年国債利回り*	0.37%	0.38%	0.01%

※ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

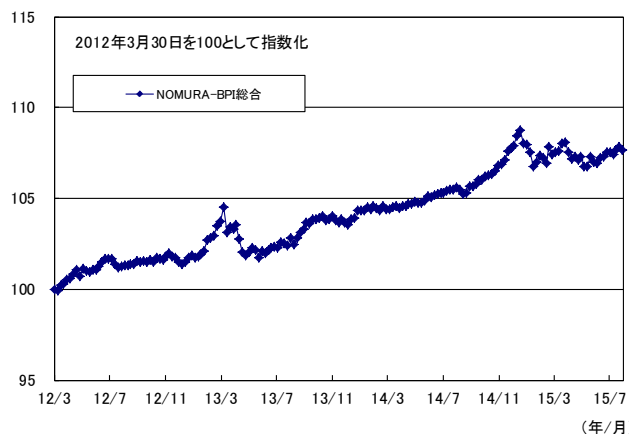
騰落率がプラスの場合:

騰落率がマイナスの場合:

騰落率が横ばいの場合:

先週の騰落率	先週の相場動向
-0.17%	

<期間>2012年3月30日～2015年8月28日



NOMURA-BPI総合	2015/8/21	2015/8/28	騰落率
	364.77	364.16	-0.17%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

NOMURA-BPI総合は、野村証券株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他の権利は野村証券株式会社に帰属しております。また、野村証券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

世界の債券市場

市場の動向

世界債券市場の動きを示す代表的な指数であるシティ世界国債インデックスは、21日比円ベースで、2.49%下落しました。米国債券市場(現地通貨ベース)は、7月の耐久財受注が市場予想を上回ったことや、週後半にかけて株式市場が落ち着きを見せたことなどを背景として、債券利回りは上昇(価格は下落)しました。欧州債券市場(現地通貨ベース)では、8月の独Ifo景況感指数が市場予想を上回ったことや、市場のリスク回避姿勢が後退したことなどから、ドイツ国債利回りは上昇しました。為替は、21日比で円/ドルレートは円高・ドル安、円/ユーロレートは円高・ユーロ安となりました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 31日 ユーロ圏CPI(消費者物価指数、8月)
- 9月1日 米ISM製造業景況感指数(8月)
- 3日 ECB金融政策
- 3日 米ISM非製造業景況感指数(8月)
- 4日 米雇用統計(8月) など

	2015/8/21	2015/8/28	変化幅
米国10年国債利回り*	2.04%	2.18%	0.14%
ドイツ10年国債利回り*	0.56%	0.74%	0.18%

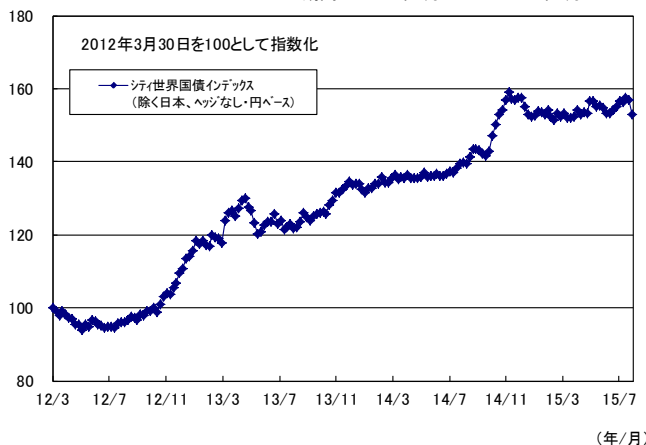
騰落率がプラスの場合:

騰落率がマイナスの場合:

騰落率が横ばいの場合:

先週の騰落率	先週の相場動向
-2.49%	

<期間>2012年3月30日～2015年8月28日



シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	2015/8/21	2015/8/28	騰落率
	479.10	467.18	-2.49%
円/ドル	122.43円	121.01円	-1.16%
円/ユーロ	138.51円	135.79円	-1.97%

<指数出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

<為替出所>当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関する全ての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

※ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。 ・REITとは、不動産投資信託証券を指します。

J-REIT市場

市場の動向

J-REIT市場(東証REIT指数(配当込み))は、21日比で3.97%下落しました。世界経済の先行きへの懸念などから、世界的に株式市場が下落したことが背景にあります。国土交通省が5月の不動産価格指数(住宅)を発表しました。そのうち、マンション指数(全国)は前年同月比で+7.1%の上昇となり、2013年3月より27か月連続でのプラスとなりました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 31日 鉱工業生産指数(7月)
- 9月1日 法人企業統計(4-6月期)

など

騰落率がプラスの場合: 😊
騰落率がマイナスの場合: 😞
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
-3.97%	⚡



東証REIT指数(配当込み)	2015/8/21	2015/8/28	騰落率
	3,017.99	2,898.23	-3.97%

＜出所＞ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
東証REIT指数の指数値及び東証REIT指数の商標は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます。)の知的財産であり、東証REIT指数の算出、指数値の公表、利用など東証REIT指数に関するすべての権利及び東証REIT指数の商標に関するすべての権利は東証が有します。

世界のREIT市場

市場の動向

世界REIT市場(S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み))は、21日比円ベースで、3.99%下落しました。米国REIT市場(現地通貨ベース)は、週前半は、中国市場に対する不安などを背景に、米株式市場とともに下落しました。週後半には、米金融当局者の発言や良好な経済統計の発表が行なわれたことから反発する局面もありましたが、週間では下落しました。欧州REIT市場(現地通貨ベース)は、中国の景気減速懸念などが背景となり、下落しました。豪州REIT市場(現地通貨ベース)は、豪州株式市場が上昇したことに連れて、上昇しました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 31日 ユーロ圏CPI(8月)
- 9月1日 米ISM製造業景況感指数(8月)
- 3日 ECB金融政策
- 3日 米ISM非製造業景況感指数(8月)
- 4日 米雇用統計(8月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊
騰落率がマイナスの場合: 😞
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
-3.99%	⚡



S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み・円ベース)	2015/8/21	2015/8/28	騰落率
	902.90	866.88	-3.99%
円/ドル	122.43円	121.01円	-1.16%
円/ユーロ	138.51円	135.79円	-1.97%

＜指数出所＞ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
＜為替出所＞当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

S&P先進国REIT指数はスタンダード&プアーズファイナンシャルサービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。

新興国の株式市場

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

市場の動向

新興国株式市場全体の動きを表す代表的な指数であるMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、21日比円ベースで0.16%下落しました。

中国株式市場(現地通貨ベース)は、景気減速懸念が高まる中、市場で期待されていた追加の金融緩和策が前週末に発表されなかったことなどから下落して始まりました。その後、中国人民銀行による利下げや資金供給があったことなどから上昇する局面もありましたが、週間では下落しました。

ロシア株式市場(現地通貨ベース)は、原油価格の上昇や中国の追加金融緩和策などを受けて上昇しました。

ブラジル株式市場(現地通貨ベース)は、7月の融資残高が市場予想を上回ったことや、中国の追加金融緩和策などを受けて上昇しました。

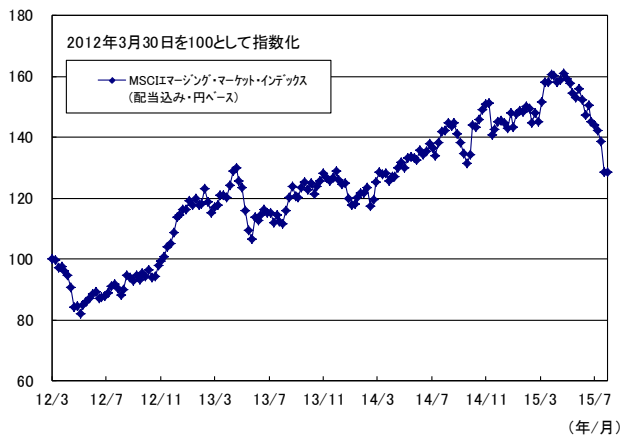
今後発表予定の主な経済指標など

- 9月1日 中国財新製造業PMI(購買担当者景気指数、8月、確報値)
- 2日 ブラジル鉱工業生産指数(7月) など

騰落率がプラスの場合: 😊
騰落率がマイナスの場合: 😞
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
-0.16%	👉👈

<期間>2012年3月30日～2015年8月28日



MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース)	2015/8/21	2015/8/28	騰落率
	1,678.58	1,675.88	-0.16%

<出所> FactSetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

新興国の債券市場

市場の動向

新興国債券市場全体の動きを示す代表的な指数であるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドは、21日比円ベースで、1.64%下落しました。

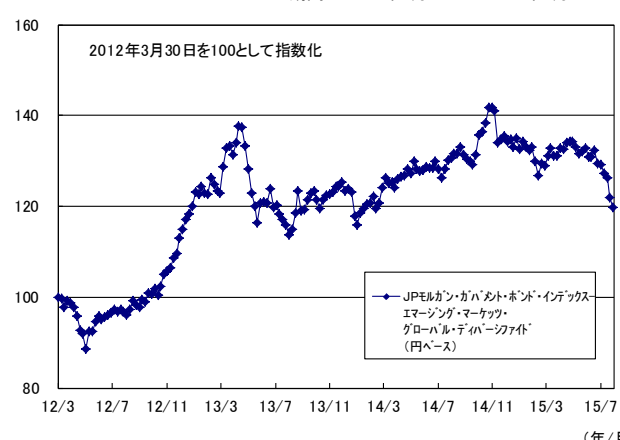
タイでは、8月中旬の爆発事件を受け、同国を訪れる1日当たりの平均入国者数の減少が確認されました。タイの主要な産業である観光業への影響が懸念される中で、同国の債券指数は下落しました。

ハンガリーでは、内戦が続くシリアなどを逃れた難民による不法入国問題が懸念されており、国境警備強化策が新たに発表されました。こうした投資環境の中、同国の債券指数は下落しました。

騰落率がプラスの場合: 😊
騰落率がマイナスの場合: 😞
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
-1.64%	👉👈

<期間>2012年3月30日～2015年8月28日



JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)	2015/8/21	2015/8/28	騰落率
	249.98	245.87	-1.64%

<出所> ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (JP Morgan Government Bond Index - Emerging Markets Global Diversified) は、J.P. Morgan Securities LLCが公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

今後発表予定の主な経済指標など

- 31日 タイ経常収支(7月)
 - 9月1日 インドネシアCPI(7月)
 - 2日 ブラジル鉱工業生産指数(7月)
 - 2日 ブラジル金融政策
- など

【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

2015年8月現在

<p>ご購入時手数料 《上限4.32%(税込み)》</p>	<p>投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。</p>
<p>運用管理費用(信託報酬) 《上限2.1816%(税込み)》</p>	<p>投資家はその投資信託を保有する期間に応じたかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。</p>
<p>信託財産留保額 《上限0.5%》</p>	<p>投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。</p>
<p>その他の費用</p>	<p>上記の他に、「組入価値証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

商号:野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会:一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。